

【取締役及び監査役の選任理由】

氏名	地位及び担当	選任理由
堀場 厚	代表取締役会長兼グループCEO	1992年から2017年末に至るまで約26年間にわたり当社代表取締役社長を務め、2018年からは当社代表取締役会長兼グループCEOとして、グローバルに当社グループの成長をリードする等、豊富な経営経験を有しており、グループCEOとして、より一層のグループ力の強化やグローバル展開を進めるにあたり適任と判断したため。
齊藤 壽一	代表取締役副会長兼グループCOO	アメリカ子会社の経営をはじめとした海外経験に加え、経営戦略本部長として事業戦略や企業買収を中心となって推進した経験を有しており、2018年からはグループCOOとしてグループ全体を統括し、より一層のグローバル展開を進めるにあたり適任と判断したため。
足立 正之	代表取締役社長	開発本部での豊富な経験やアメリカ、フランスの子会社の経営をはじめとした海外経験を有しており、また、2018年からは当社代表取締役社長として当社の経営を担い、さらなる技術力強化を通じ企業価値向上を実現するにあたり適任と判断したため。
小石 秀之	取締役	半導体分野に対し流体計測・制御機器を中心にトータルソリューションを提供する当社連結子会社の株式会社堀場エステックにて、代表取締役社長を2016年より約7年間務めた経験を有しており、今後も当社の半導体市場向けビジネス等の成長を牽引していくにあたり適任と判断したため。
George Gillespie	取締役	2009年から2018年までの約10年間、当社買収前のMIRA社のCEOを務め、買収後も、ホリバMIRA社のトップとしての役割に加え、グローバルのエネルギー・環境事業責任者として、当社グループの経営戦略をリードしてきた経験を有しており、当社グループのグローバル・オペレーションをより一層加速させるにあたり適任と判断したため。
堀場 弾	取締役	水事業を牽引する当社連結子会社の株式会社堀場アドバンスドテクノ、半導体事業の中核を担う当社連結子会社の株式会社堀場エステックで、合計約7年間にわたり社長としての経営経験を有しており、また、2024年策定の中長期経営計画MLMAP2028を中心として立案し、グループ全体の成長を牽引していくにあたり適任と判断したため。
外山 晴之	取締役(社外)	企業法務を専門とする弁護士としての専門的な知識や、国際金融・財務分野に関する豊富な経験と知識を有しており、取締役会における公正な意思決定を促し、経営の監督機能を強化する役割を適切に果たすことができると判断したため。
松田 文彦	取締役(社外)	ウイルス、免疫、ゲノム等の医療分野に関わる専門知識、京都大学総長首席学事補佐等の役職を通じて得られたマネジメントの知見やフランスでの国際経験を有しており、取締役会における公正な意思決定を促し、経営の監督機能を強化する役割を適切に果たすことができると判断したため。
田邊 智子	取締役(社外)	当社の社外監査役を3年間務めた経験に加え、医療における高度な専門知識や知見及び企業経営に関する高い見識を有しており、取締役会における公正な意思決定を促し、経営の監督機能を強化する役割を適切に果たすことができると判断したため。
本川 仁	常勤監査役	営業本部での長年にわたる豊富な経験に加え、管理本部、財務法務本部においては、当社国内グループ会社の業績管理の経験を有しており、監査役としての職務を適切に遂行し、監査業務を務めることに適任と判断したため。
山田 啓二	監査役(社外)	知事としての地方行政における経験や他社の社外取締役の経験を通じて培われた幅広い見識は、当社経営にも大きく寄与するところがあり、また現在、京都産業大学の理事長として、経営に関する高い見識と経験を有しており、監査役としての職務を独立した立場から適切に遂行し、当社の経営を監督できると判断したため。
河本 紗代子	監査役(社外)	繊維工業、小売、製造、不動産賃貸業等のさまざまな事業を展開するグループ会社を統括する綾羽株式会社において代表取締役副社長を務め、企業経営に関する高い見識と経験を有しており、監査役としての職務を独立した立場から適切に遂行し、当社の経営を監督できると判断したため。